

## 第3回 三谷地区

### まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日時：平成30年9月30日（日）

午後1時30分～午後4時30分

会場：三谷公民館 大集会室

主催：蒲郡市

#### プログラム

開会	1：30
事務局から説明	1：35
・ワークショップの趣旨・目的 ・進め方とスケジュール ・前回ワークショップでのご意見 ・三谷地区の地区利用型施設再配置プラン案について ・本日の検討内容	
（休憩）	2：30
グループ討議	2：40
発表	4：00
事務連絡	4：25
閉会	4：30

#### <目次>

- ・ ワークショップの趣旨・目的 . . . . . 1
- ・ 進め方とスケジュール . . . . . 2
- ・ 第2回ワークショップの結果概要（案） . . . . . 3
- ・ 第2回ワークショップふりかえりシートご意見 . . . . . 10
- ・ ご質問等への回答 . . . . . 13
- ・ 三谷地区の課題と課題解決に向けた方策 . . . . . 15
- ・ 再配置プランの考え方 . . . . . 16
- ・ 三谷地区 地区利用型施設再配置プラン案 . . . . . 17
- ・ 評価の視点 . . . . . 19
- ・ 本日の検討内容 . . . . . 20

## ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

### 蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を反映させた三谷地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった” “住み続けたい” と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

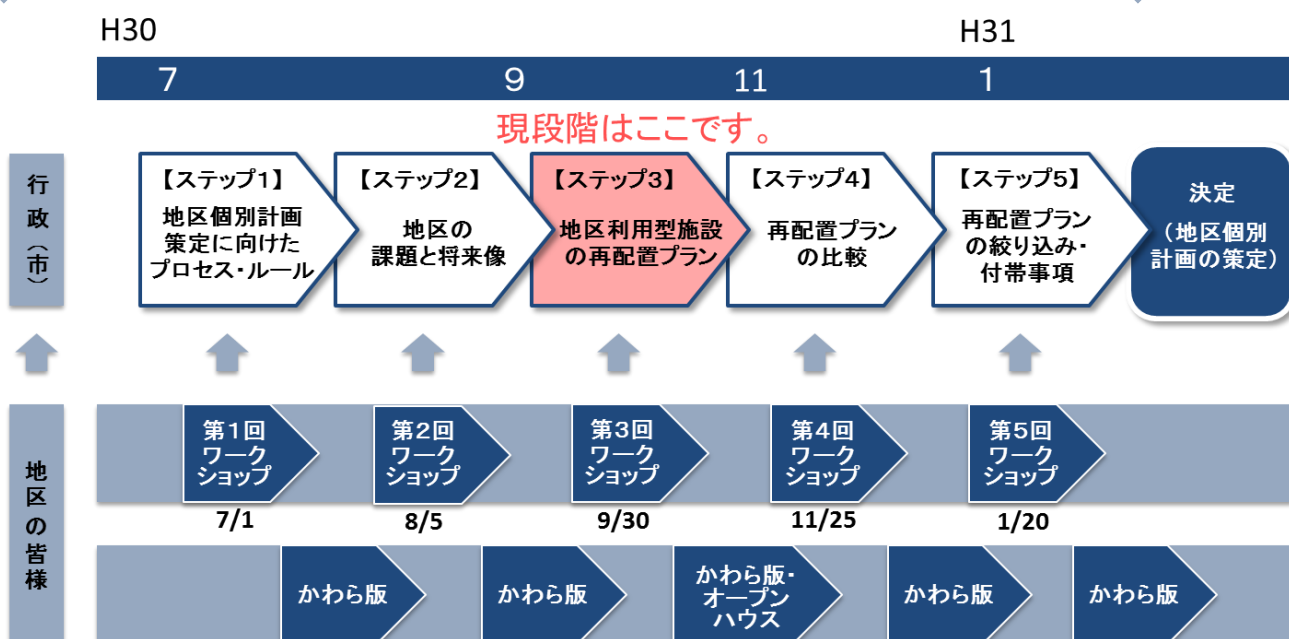
## 進め方とスケジュール

### 1 検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

### 2 スケジュール（予定）



## 第2回ワークショップの結果概要（案）

### 1 課題解決に向けた視点について

#### 1) 追加すべき視点

- 「②地区の活性化」は商業振興だけで達成できるものではない。住みよく子育てしやすい環境をつくり、人口減少を抑えることも活性化にとって重要なので、そういったまちづくりの視点も加えたい。
- 「②地区の活性化」に商業振興とあるが、三谷地区だけでできる商業振興は限られているので、産業、観光、住宅を含めた地域振興をもっと広域的な視点から考える必要がある。
- 子育て層などの同世代が気軽に利用し、交流できる場がないのが問題なので、多世代交流の場よりもまず世代ごとに利用できる場、交流できる場をつくるべきではないか。「⑤多世代が活動・交流できる場づくり」に加えてほしい。

#### 2) 視点ごとの意見

##### ① 地区のまとめり

- 三谷地区の一部の子どもたちが竹島小学校や蒲郡中学校に通っていることや上区の子どもたちが三谷小学校と三谷東小学校に分かれて通っていることが地区の一体感の欠如につながり、行事への参加にも支障をきたしている。行政区と学校区が異なるという問題を解決するために、学校区を再編する必要がある。
- 小学校の学校区再編が難しいのであれば、より地域とのつながりを意識する中学校の段階で三谷地区の子どもは全て三谷中学校に通うようにすればよい。中学生になれば体力もつき、自転車通学もできるので遠方への通学も可能になるだろう。
- 地区外の小、中学校に通っている子どもたちを地区内の学校に通わせられれば、児童生徒数が増えて良いというのは三谷側から見た意見であり、竹

島小学校区側から見れば異なる意見もあると思う。また、三谷でも新住民は行政区と学区の違いをあまり気にしていないようだし、保護者などの関係者がいない中、この場で話し合っただけで結論を出すべき問題なのか疑問だ。

② 地区の活性化

- リニア開通を見据えて観光や産業を誘致する、津波の心配のない市街化調整区域を用途変更して宅地化する、県の施設である水産高校を多世代交流の場にするなど、産業、観光、住宅などの様々な面から三谷の発展を考えるべきだ。

③ 学校教育環境の適正化

- 財政負担の軽減を考えれば小学校を統合することになってしまうのかもしれないが、蒲郡市内の他地区にはもっと児童数が少ない学校もある。何を基準に生徒数が少ないと判断するのか。
- 小学校を統合する場合は、児童の通学の安全性や利便性を確保するために、スクールバスを導入するなどの交通アクセス対策をしてほしい。
- 学校が徒歩で通える圏内にあるというのが小学生の体力づくりや健康づくりには大切だと思うので、統合によってスクールバス通学になったり、車で親が送迎するような環境にしたくない。
- 小学校が統合されると児童数が増えるので、これまで人数の関係で限定されていた部活動の種類が増えることが、統合のメリットだと思う。
- 学校が統合されて子どもが遠くの学校に行くことになると安全安心面や利便性などでリスクが生じるので、保護者の不安が大きいだろう。反対する保護者もいると思うので、十分に意見を聞いた上で判断すべきだ。保護者の意見を聞く機会を設けてはどうか。

④ 子育てしやすい環境づくり

- 保育園を統合して数が減るのは、子育てしやすいという視点から考えると問題だと思う。
  - 共働きの家庭が多いので、放課後も安心して子どもが過ごせる場所が必要だ。空き教室などを活用した放課後の活動場所をつくれれば、親のニーズに応えられ、地域内の子どもの数も増えるのではないか。
  - 図書館が遠かったり、スペースが狭いため、地域内に中高生が勉強できる場所がない。公民館や児童館などに自習室を設けられないか。
- ⑤ 多世代が活動・交流できる場づくり
- 学校で多世代交流ができるのは良いことだが、教育活動以外の様々な活動を行う場合には教員の負担が増えないように配慮する必要がある。
  - 交流を生むためには、機能を複合化して交流の機会が増える設えをつくるだけでなく、ソフト面の工夫が必要だ。
- ⑥ 防犯・防災
- 三谷公民館と三谷西保育園は海に近くて災害の危険性が高いので、安全な立地に移転すべきではないか。避難場所にもなることを考えると、公民館の移転先は現在の場所からあまり遠くない方がよい。
  - 最近では災害が多いので、統合や複合によって避難場所が減ることが心配だ。
  - 災害にはハード面だけではなく、避難対策などのソフト面で対応することも重要だ。両方を踏まえ、地区個別計画を検討すべきだ。
- ⑦ 利便性の確保
- 住みやすいまちづくりのために、駅や公共施設へのアクセスの確保やバスの利便性向上などの交通アクセスに配慮してほしい。

⑧ 将来負担の縮減

- 将来費用推計の根拠がよくわからず、見通しも甘いように感じる。もっと正確な見通しが立てられないか。

⑨ 運営の改善

- 公民館は誰でも利用できる施設だが、いつも利用している団体がよい時間帯を優先的に予約しているのが実情なので、若い層が気兼ねなく利用できるような運営システムを導入しないと、ますます若者にとっては遠い存在になると思う。インターネットなどを活用して、公共施設の予約状況などが把握できるようにしてほしい。
- みや児童館に三谷小学校の児童クラブが設置されているが、管轄が異なるため、児童クラブ利用者とその他一般の児童館利用者で、活動プログラムやおやつなどの提供されるサービスも異なっている。子どもたちはお互いに気を使いながら過ごしているようなので、待遇の区別をなくすか完全に施設を分けるかして対応すべきだ。

## 2 課題解決のための具体策について

### 1) 施設再編の方向性

- 公共施設再編だけではない財政負担軽減策があるはずだ。各施設の長寿命化を進めれば、再編しなくても負担は軽減されるのではないか。
- 施設の再編について地域の合意が難しいのは、将来の財政負担増大への危機意識がまだまだ薄いことが要因ではないか。危機的な状況に陥らないと意識が向かないのかも知れない。市の職員が区レベルで出前講座をするなど、現状を認識し、共有するための場をもっと設けるべきだ。
- 空き教室や空き施設などを有効活用して、子どもたちが放課後過ごせる場や若者や子育て層が交流できる場などを整備できるとよい。既存施設の活用なので新しいものをつくるよりもコストがかからないだろう。
- 機能を集約すると施設までのアクセスが悪くなる人が出てくる。機能によっては近くにある方が便利なものもあるので、空きスペースや地域内に点在する各区の集会所を活用することも検討すべきだ。
- 災害時の危険性を考えると三谷公民館は移転すべきなのかもしれないが、津波の際の浸水に耐えられるような構造や高さにして、現公民館の安心安全の強化を図るのも1つの方法ではないか。
- 30年、40年後の社会状況は変わっていくので、地域内の人口推計のシミュレーションが難しいのは確かだが、学校区や行政区の再編や公共施設の再配置の検討をするために、前提条件としての推計は必要だと思う。
- 公共施設の再編を考える上で竹島小学校の学校区問題は重要だ。これを考慮しないと小学校の統廃合を含めた再編の方向性が見えてこない。



## 2) 施設の複合化

- 複合化によってメリットとデメリットの両面が生じる。例えば、1カ所でいろいろな用事ができて利便性は高まるが、様々な人が出入りするので防犯面で不安が生じたり、駐車場の問題が出てくる。メリットとデメリットを整理して明確にし、何に重きを置くのかを考える必要がある。
- 学校や保育園に公民館などを複合すると、不特定多数の人の出入りがあるので防犯面が心配だ。防犯カメラの設置やソフト面の対策を行い、セキュリティ強化をする必要がある。
- 高齢者と子どもは相性が良いので、高齢者が使う施設と子どもが使う施設を複合し、空間の作り方を工夫してお互いがゆるやかにつながるようになると良い。
- 高齢者と子どもがイベント時に交流する程度ならよいと思うが、日常的に共存するのは現実的には難しいと思う。
- 三谷西保育園を三谷小学校に複合すれば津波・高潮からの安全が確保できる。同じ敷地内で園児と児童の共存が可能ないように、建物の建て方の工夫が必要である。駐車場が十分に確保できるかも課題である。
- 三谷公民館を三谷小学校に複合すれば、現状の立地からさほど遠くないし、高齢者と子どもなどの多世代交流の場ができる。公民館の跡地は三谷祭を紹介するとともに祭りの拠点となる「三谷祭会館」にしてはどうか。
- 三谷公民館と三谷西保育園を現状の場所からあまり離れていない三谷小学校に複合し、さらに児童クラブも一緒にできると安全が確保できるとともに利便性が高まる。
- みや児童館の1階に図書館や学習スペース、子どもや親世代も含めた若年層の集える場などを整備できるとよい。児童館機能が拡大され、中高生の利用も増えるのではないか。
- 三谷西保育園をみや児童館の1階に移転させ、異年齢の子どもの交流ができるとよい。津波・高潮による危険も避けられる。
- 児童館の1階の面積は保育園としては狭すぎるし、みどり保育園とも近い

ので、三谷西保育園を移転するのは現実的ではないと思う。

- 三谷小学校への公民館や保育園などの複合化を先行プロジェクトとして着手すれば、学校から移動せずに様々な活動ができる場があることを子育て世代にアピールできて、地域の評価が高まり子どもが増えるかもしれない。再編に取り組む前に順序として考えてほしい。
- 複合化することでより広い駐車場が必要になると思うが、敷地の関係で十分なスペースが取れない場合には、コミュニティバスなどの公共交通機関を充実させることで対応してはどうか。

### 3) 学校の統合

- 三谷小学校は地域の中心にあるので立地がよく、歴史も古くて地域の象徴的な位置づけだ。地域コミュニティの柱でもある重要な施設なのでなんとか残したい。
- 三谷小学校と三谷東小学校は両方とも残し、小学校を拠点にしてそれぞれ複合施設をつくってはどうか。三谷小学校にみや児童館と三谷西保育園、三谷東小学校に三谷東保育園を複合するのであれば、これまでの立地と大きく変わらないので抵抗感も少ないだろう。
- 三谷地域はエリアが広く、いずれの小学校も地域の中心に立地しているわけではないので、どちらに統合するにしてもアクセスの問題が出てくる。土地が確保できるなら、地域の真ん中に小学校を集約できるとよい。

### 3 その他

- 公共のプールやトレーニングジムが地域内にはないので、そういう施設ができるとよい。
- 竹島小学校に通う三谷地区の児童数の資料がほしい。

## 第2回ワークショップ ふりかえりシートご意見

### 1 今日の議論で良かったこと

- 活発な意見が出ました。学校統合はむずかしいこと、西部小が存続しているのなら三谷小も三谷東小も存続できるのではないか。子供の足で通学できる距離を考慮して下さい。歩くことは将来の健康につながりますから。共働きの親が多いので、車送迎も考えものです。学校内に児童クラブや体操、書道などの塾の人を呼んで学校内で子供も親も安心できる。
- 既存の枠組みにとらわれない新しい提案（地区の真ん中に学校を新設する）に接することができたこと。この案でないと、学校の再編は合意できないとわかったこと。
- 三谷小に三谷西保育園や公民館（災害対策として）を統合すること。将来的には児童館もそこへもってきたらどうか。
- 統合ばかりでなく、皆が住みたくなる町にしたい。三谷小と三谷東小を一緒にして町の中央に作りたい…新三谷小
- 現状維持がいいのかも…
- 大変良かったです。
- 数年先の事を議論すべきなのか？将来に向けて議論していくべきなのか？
- 中期、長期と考えるべきではないでしょうか？
- 色々詳しい人が多くてとても勉強になりました。みんな思っていることは同じですね。煮詰まって、話し合い時間が足りないと思いました。
- 自分の住んでいるとこの現状を初めて知った。小中学校を見て、児童が減っているなと思っていたけどここまで少ないと思わなかった。
- いろいろと話を聞いて良かったです。
- 事前にファシリテータの方が議論の目的を明確にしてくれたので、議論がしやすかった。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 良かったことではないのですが、前半のワークショップの趣旨・目的など資料を読んでいただけなら、その時間も議論の時間にするとか、ワークショップの時間を短縮するなりの方が良いのではないかと思います。
- 全体の考え方が同じ方向に向かっていると思えた。
- 若い人の意見が聞いてよかった。世代の違いが激しい。
- 子供たちの環境や、子育てについて、多くの意見が出ていてよかった。
- 三谷だけでなく蒲郡市までひろげて話合いが進んでいる様に感じられ良かったと思います。
- 他メンバーの人の意見から自分の気が付かない点が認識されて自分の考えが広がっていくことを先回より強く思われました。
- 小学校区の問題についてよく議論できた。
- 「地区のまとめり」の話しが細かい所まで意見集約できたと思います。
- 東三河地域の活性化の話しが出て、広い視野でこれから先のことを見ていくことも大切だと思った。
- 自分の思っていたことが他の人も同じで今後解決しなければならないと強く思った。(西区の行政区と学校区のちがい)しかし、若い世代の感覚としてあまり問題とおもっていない人たちもかなりいると聞き、年数がすぎるとかわってしまうことをつくづく思いました。
- 商業活性よりも子育ての方で住みやすい町を目指したらという意見が多く良かったと思った。

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 理想と夢が多すぎる？土地がない、お金がないより先にそれぞれの学校の特色を生かして存続させてほしいです。
- 計画案等の策定にあたっては、ワークショップの内容をきちんとふまえて検討してほしい。
- 夢というか目指すべき町の具体的な絵図が何パターンか見てみたい気もしてきました。
- 将来費用について、18億6千万となっているが、人口推計を考慮してH30年を1.0とすると、H35・40・45・50年の負担がどの程度になるか示してほしい。
- 皆さん、真剣に調べすぎて頭がかたく感じる。現状から先を決めるならこの討論でいいと思うけど、良くするためなら世代、地区でもっと人を集めるべきだと思う。
- 西浦、塩津地区のかわら版4号で、将来負担の縮減額について、地区個別計画案の建設費の見積り、その設計内容から維持・更新、運営費等が予想されると思うが、元々の設計図がなくてどう計算しているのか？
- 学校の統合、公民館、児童館については周りの親などに聞いてきたりして話しをしたが他の問題についてはあまり意見が言えなかった。
- バスなどの公共交通について意見を言えばよかった。（以前形原で試験的に行っていたミニバスみたいなものを考えてみてほしい。）
- 三谷地区という点ではないが、ラグーナに来る人に対してリムジンバスが蒲郡駅、大塚駅からしかないと思います。豊橋からリムジンバスを出すことができれば来ても良いという人がいることを知ってください。（市街地と農村地区のある豊橋は、蒲郡以上に格差がありますが、バスがかなりのところまで走っていることを聞きます。）
- 「運営の改善」がもう少し意見を出せればよかったと思います。

## ご質問等への回答

- 竹島小学校に通う三谷地区の児童数の資料がほしい。

図表1 三谷町西区から竹島小学校に通う児童数及び蒲郡中学校に通う生徒数

学校	学年	人数（人）
竹島小学校 (計86人)	1年	17
	2年	11
	3年	19
	4年	17
	5年	14
	6年	8
蒲郡中学校 (計31人)	1年	12
	2年	12
	3年	7
計		117

平成30年5月1日現在

- 西浦、塩津地区のかわら版4号で、将来負担の縮減額について、地区個別計画案の建設費の見積り、その設計内容から維持・更新、運営費等が予想されると思うが、元々の設計図がなくてどう計算しているのか？

【塩津地区及び西浦地区におけるライフサイクルコストの試算について】

西浦地区と塩津地区のかわら版第4号では、各再配置プランの「LCC（ライフサイクルコスト）試算における50年間の縮減額」を掲載しています。

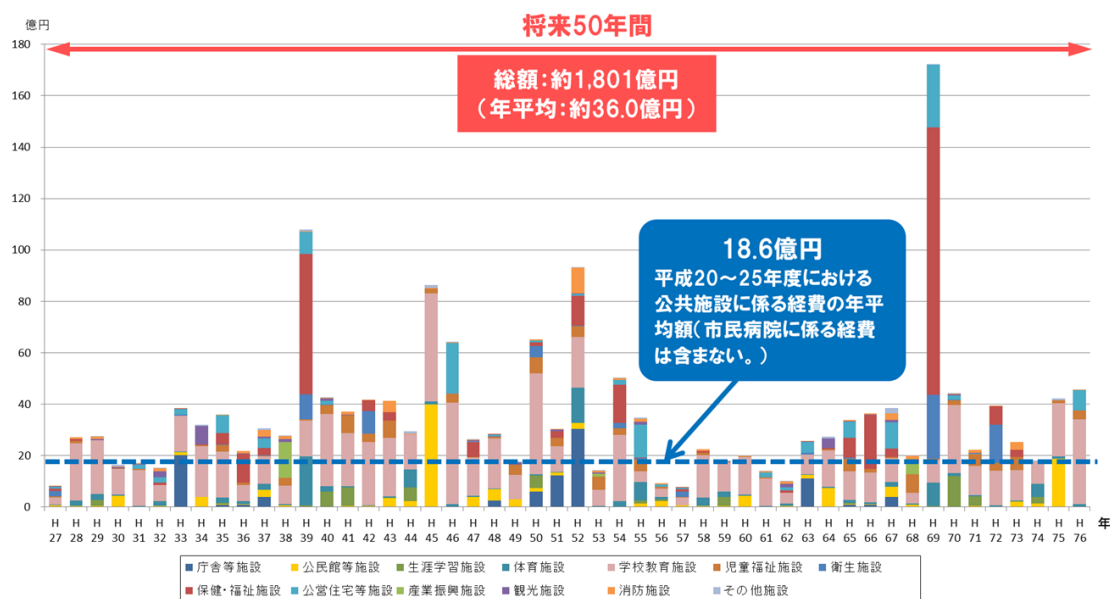
これは、再配置プラン案を比較するために、一定の試算条件下での費用縮減額を示しているものです。

設定した条件は各地区のワークショップ資料「項目ごとの評価の解説」に示しています。（必要な方にはお配りいたします。）

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 将来費用について、18 億 6 千万となっているが、人口推計を考慮して H30 年を 1.0 とすると、H35・40・45・50 年の負担がどの程度になるか示してほしい。（ふりかえりシートより）

図表2 公共施設の維持更新にかかる将来費用の推計



### 【将来費用について】

第1回と第2回のワークショップでお示した将来費用の推計のグラフ（図表1）において、青色の点線で示している「18.6億円」は、蒲郡市公共施設白書を取りまとめた直前までの平成20～25年度の間に、蒲郡市が公共施設の維持更新にかけた費用の実績額を表しており、将来の市民の負担額を表しているものではありません。

公共施設に係る維持更新費用の推計額は、赤色の枠内に示しているとおり、50年間総額で約1,801億円（年平均約36.0億円）です。

建物の寿命を標準的な60年に設定し、一律の条件下で試算すると計算結果はこのとおりになりますが、蒲郡市公共施設マネジメント実施計画では、保有床面積の縮減と建物の長寿命化による費用の平準化により、将来かかる費用を抑えていくこととしています。

三谷地区の課題と課題解決に向けた方策

視点の整理 (赤字は、第2回WSでいただいたご意見等を元に修正・追加した箇所)		課題解決に向けた方策		
視 点	第1回・第2回ワークショップでいただいたご意見要約、市及び地区の課題	施設の再配置を通じた 解決策としていただいたご意見	再配置を通じた 解決策	運営の工夫による 解決策としていただいたご意見
① 地区のまとめり	<ul style="list-style-type: none"> <li>三谷祭など地域の伝統や風習を守っていける環境、地域活動ができる場の整備</li> <li>行政区と学区が異なり、一体感に欠ける(若い世代はそれが障壁にはなっていないとの認識も)</li> <li>歴史が古く、象徴的で、地域コミュニティの柱である三谷小学校を残したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統や風習を守っていける環境、地域活動ができる場の整備</li> <li>跡地を活用し、三谷祭の拠点を設置</li> </ul>	①地区の中心となる活動拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政区と学区が異なり、行事への参加に支障をきたしているため、学区を再編する</li> </ul>
② 地区の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少を回避するための投資が必要(商業振興)</li> <li>産業や観光の誘致、住宅地開発をはじめとする地域振興が必要</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の評価を高めて、子どもが増えるよう、子育て環境を整えて子育て世代にアピールする</li> </ul>
③ 学校教育環境の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童数減に考慮した三谷小学校、三谷東小学校の統合が計画のポイントとなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三谷小学校と三谷東小学校の統合</li> </ul>	②小学校の統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校を統合する場合に、スクールバスを導入するなどにより交通アクセス対策を行う</li> </ul>
④ 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後の子どもの居場所づくりが必要</li> <li>統合により保育園数が減少することは子育て環境の観点から問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが放課後に安心して過ごせる場所(勉強したり、集まって交流できる場所)をつくる</li> <li>小学校に保育園や児童館を複合する</li> <li>児童クラブを三谷小学校と一緒の場所にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③子どもの居場所の確保</li> <li>④子育て関連機能の集合</li> <li>⑤小学校内への児童クラブの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き教室を活用して放課後の活動場所を確保</li> <li>(学校に保育園を複合した場合)園児と児童が共存できる工夫</li> </ul>
⑤ 多世代・同世代で多世代が活動・交流できる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども、若者、元気な高齢者が交流できる施設ができるとよい</li> <li>若者や子育て層など、同世代が気軽に利用・交流できる場が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者や子育て層などの同世代が交流できる場を整備する</li> <li>高齢者が使う施設と子どもが使う施設を複合化し、お互いにゆるやかにつながるようにする</li> <li>三谷公民館と三谷小学校を複合し、高齢者と子どもの交流の場とする</li> <li>公民館や児童館に自習室を設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥多世代・同世代で活動・交流できる場の整備</li> <li>⑦公民館機能とその他機能の関係強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流を生むためのソフト面の工夫</li> <li>(学校で多世代交流をする場合)教員の負担が増えないように配慮する</li> </ul>
⑥ 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>再編した場合の防犯対策、安全面への配慮</li> <li>老朽化の解消が必要</li> <li>風水害、地震災害に対応した施設配置・避難所設置が必要</li> <li>避難場所は現在の立地から遠くないとよい</li> <li>※三谷西保育園及び三谷公民館が津波・高潮の浸水想定区域に立地している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三谷公民館と三谷西保育園を津波・高潮による危険を避けられる立地に移転する</li> <li>三谷西保育園と三谷東保育園を統合して災害危険性のない立地に整備する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧津波・高潮からの安全確保</li> <li>⑨避難所・避難場所の適正配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(学校や保育園に他施設を複合化した場合)設備やソフト面での防犯対策</li> </ul>
⑦ 利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な駐車スペースの確保</li> <li>バスなどの公共交通の再編(保育園送迎の負担軽減)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動せず様々な活動ができるよう小学校・公民館・保育園を複合する</li> <li>三谷公民館と三谷西保育園は現在の場所からあまり離れていない三谷小学校に複合し利便性を維持</li> <li>複合化した場合に十分な駐車場を確保する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩1カ所で多様な活動を行える環境の整備</li> <li>⑪十分な駐車スペースの確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空きスペースや各区の集会所などを活用して利便性を維持</li> </ul>
⑧ 将来負担の縮減	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設集中による無駄の解消</li> <li>スペースの有効活用(空き教室・空き家・現デイサービス)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設集中による無駄の解消</li> <li>スペースの有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑫施設数の縮減</li> <li>⑬費用対効果の高い移転先の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の長寿命化による将来負担の縮減</li> <li>空き教室や空き施設の有効活用</li> <li>将来の財政負担増に対する共通認識の醸成</li> </ul>
⑨ 運営の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用ルールの緩和</li> <li>予約方法の簡素化</li> <li>魅力的なソフト展開</li> <li>各施設の利用方法・活動実態の見える化</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用ルールの緩和</li> <li>予約方法の簡素化</li> <li>魅力的なソフト展開</li> <li>各施設の利用方法・活動実態の見える化</li> <li>ネットを活用した予約状況等の情報発信</li> </ul>

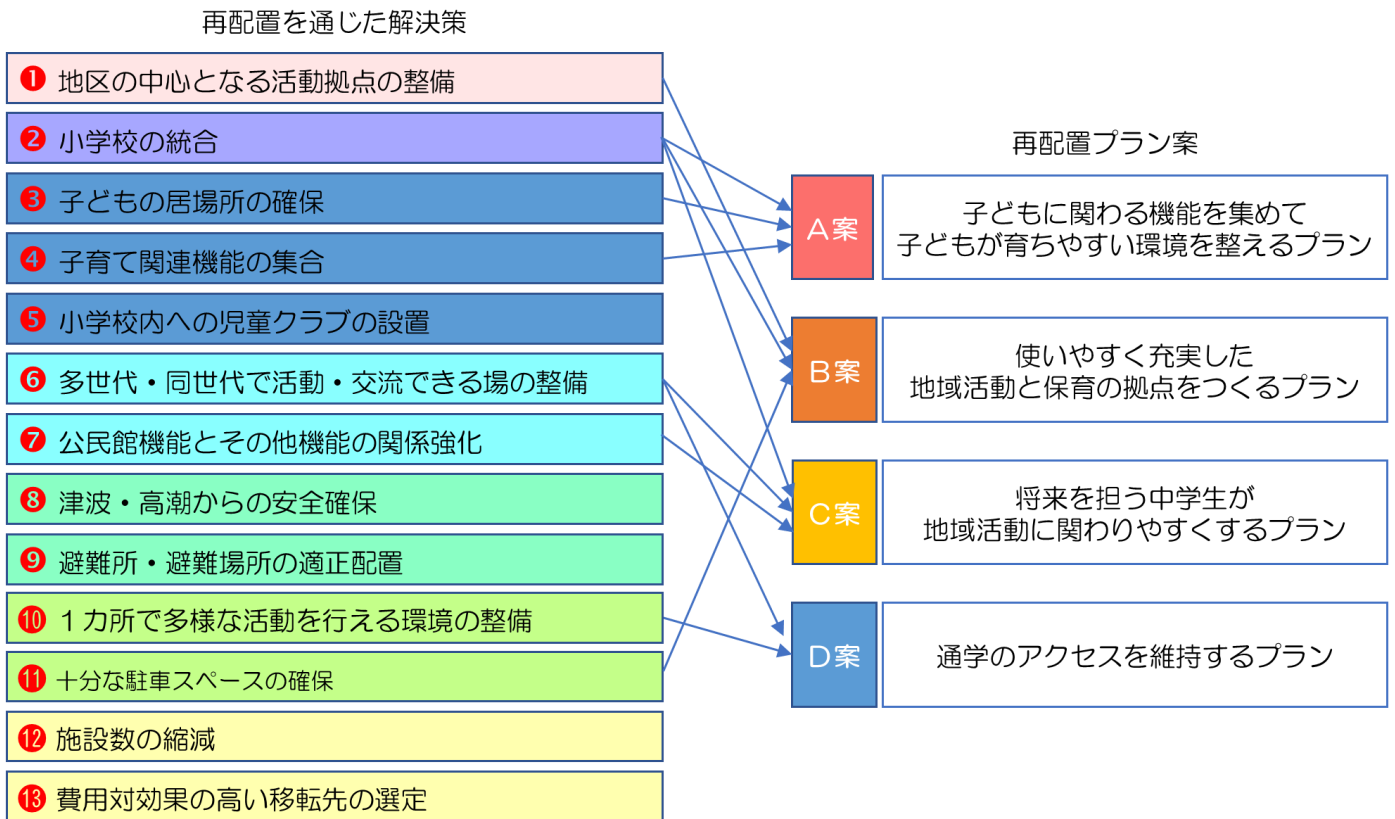


## 再配置プランの考え方

再配置を通じた課題の解決策として整理した 13 項目を用いて、それぞれコンセプト（特徴）の異なるA～Dの4つの再配置プラン案を作成しました。

すべての課題を満実に解決する案を作成することは困難ですが、複数のプランを比較しながら、より多くの課題を解決する再配置プランはどういったものか、検討していくことが必要です。

図：再配置を通じた解決策と再配置プラン案の関係性



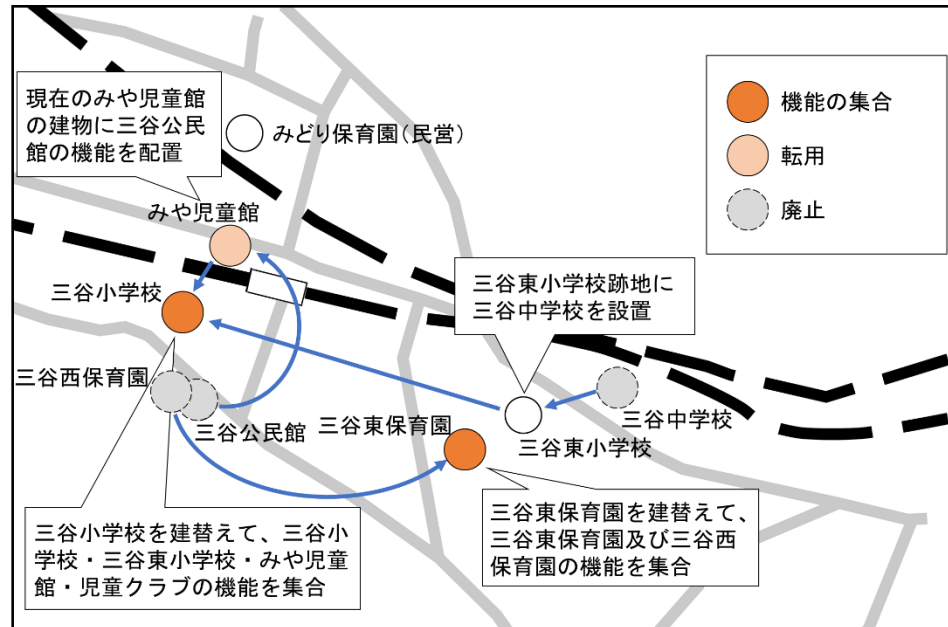
※矢印は、解決策のうち事務局が特に重視した解決策と再配置プラン案との関係性を表しています。

A

子どもに関わる機能を集めて  
子どもが育ちやすい環境を整えるプラン

【重点を置いた解決策】 ②③④

- 三谷小学校の敷地に、2つの小学校、みや児童館、児童クラブの機能を集め子育ての拠点をつくります。
- 三谷東保育園の敷地に2つの保育園を統合した保育園を設置します。
- みや児童館（1階のデイサービス部分を含む）の建物を改装し、公民館の機能を配置します。
- 三谷東小学校の跡地に、三谷中学校を移転します。



特徴

- 小学校を統合することで、一定の規模を維持することができる。
- 安全にアクセスできる小学生の放課後の居場所ができる。
- みや児童館の建物をデイサービス部分を含めて有効活用できる。
- 三谷中学校が徒歩でアクセスしやすくなる。

【関連する解決策】 ②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑫⑬

課題

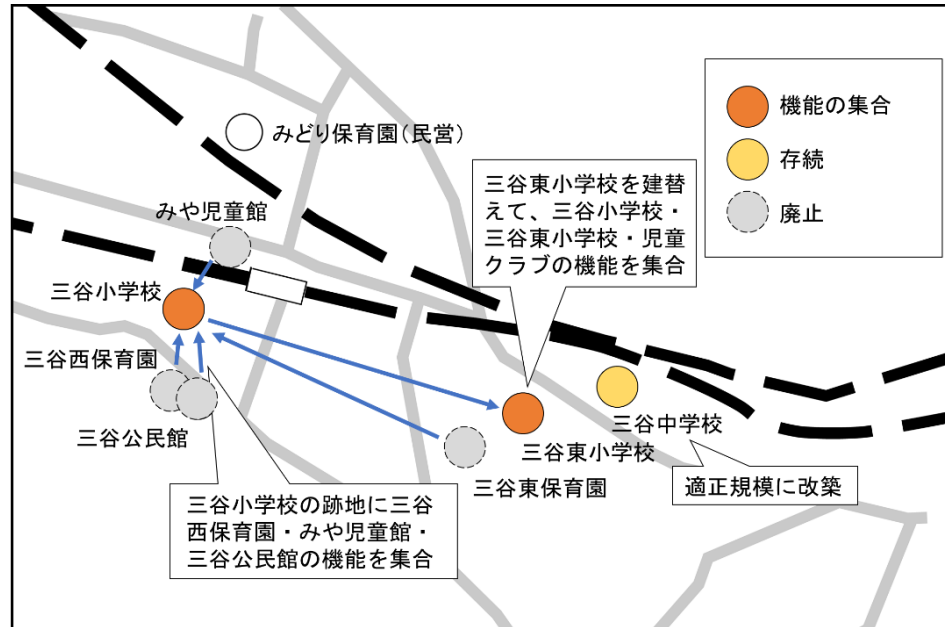
- 小学校や保育園への徒歩でのアクセス性が低下する地域が存在する。

B

使いやすく充実した  
地域活動と保育の拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】 ①②⑪

- 三谷東小学校の敷地に、2つの小学校を統合して設置し、児童クラブの機能を配置します。
- 三谷小学校の跡地に、2つの保育園、みや児童館、三谷公民館の機能を集め、広い敷地で使いやすい地域活動と保育の拠点をつくります。



特徴

- 小学校を統合することで、一定の規模を維持することができる。
- 三谷小学校の跡地を活用でき、駐車場やグラウンドなどに余裕がある使いやすい地域活動や保育の拠点ができる。
- 公民館を利用する高齢者と保育園や児童館を利用する子ども達の交流機会が増える。

【関連する解決策】 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬

課題

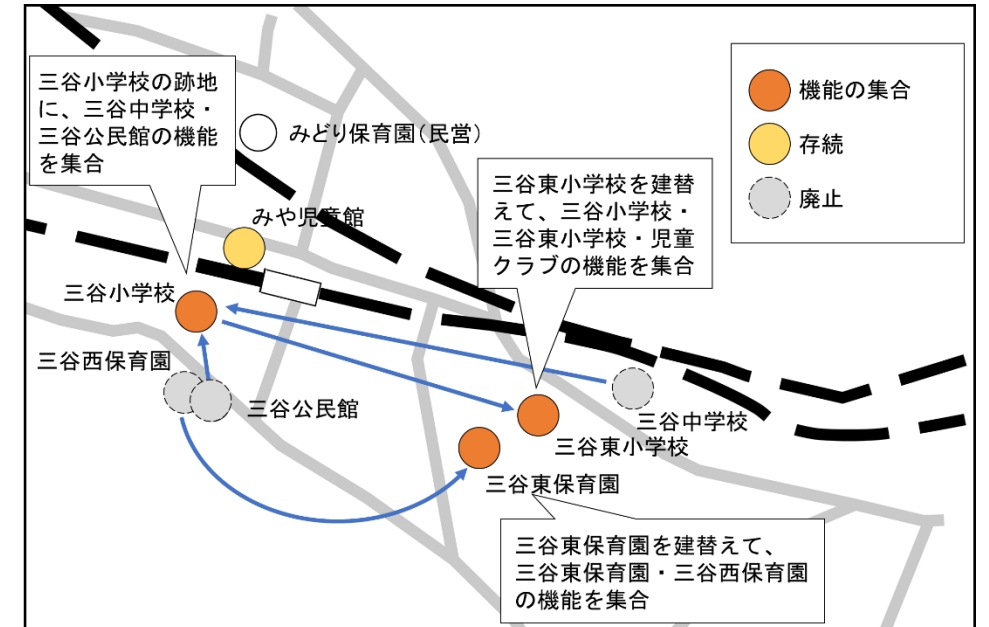
- 小学校や保育園への徒歩でのアクセス性が低下する地域が存在する。
- 比較的新しい児童館の建物の活用方法の検討が必要。

C

将来を担う中学生が  
地域活動に関わりやすくするプラン

【重点を置いた解決策】 ②⑥⑦

- 三谷東小学校の敷地に、2つの小学校を統合して設置し、児童クラブの機能を配置します。
- 三谷小学校の跡地に三谷中学校と三谷公民館の機能を集め中学生が地域の行事等に関わりやすい環境をつくります。
- 三谷東保育園の敷地に、2つの保育園を統合した保育園を設置します。



特徴

- 小学校を統合することで、一定の規模を維持することができる。
- 中学生にとって三谷祭をはじめとする地域の活動がより身近になる。
- 周辺人口の多い位置に中学校が移ることから中学生の通学しやすさが高まる。

【関連する解決策】 ①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑫⑬

課題

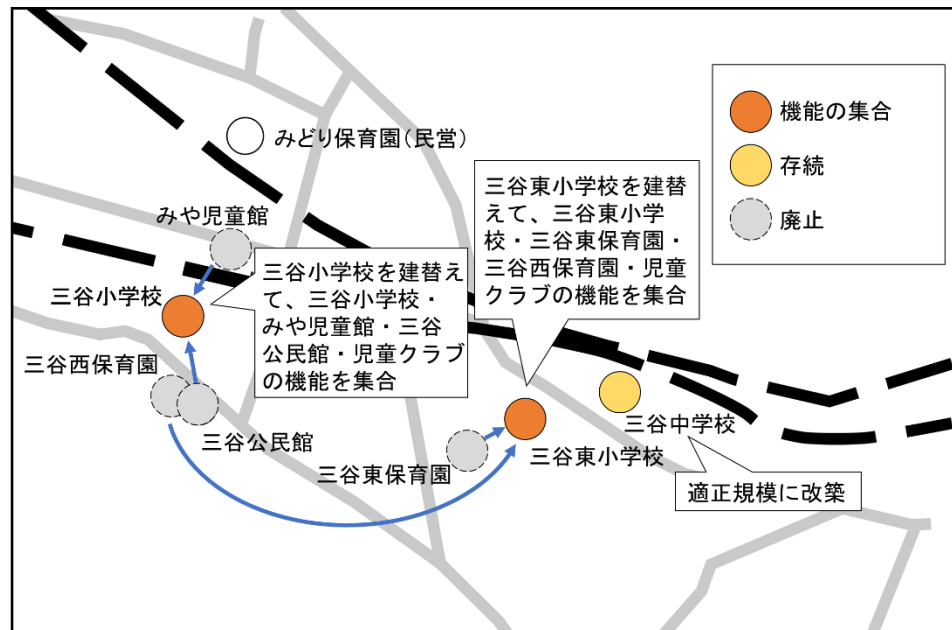
- 小学校や保育園への徒歩でのアクセス性が低下する地域が存在する。

# D

## 通学のアクセスを維持するプラン

### 【重点を置いた解決策】⑥⑩

- 三谷小学校の敷地に、三谷小学校、みや児童館、三谷公民館、児童クラブの機能を集め複合化します。
- 三谷東小学校の敷地に、三谷東小学校、2つの保育園、児童クラブの機能を集め複合化します。
- 小学校の位置を変えないことで、通学のアクセスを維持します。



### 特徴

- 小学校への通学のアクセスを維持できる。
- 三谷小学校において、安全にアクセスできる小学生の放課後の居場所ができる。
- 三谷小学校の児童が地域活動に関わりやすくなるとともに公民館を利用する高齢者と交流しやすくなる。
- 三谷東小学校と保育園の交流が行いやすくなる。

### 【関連する解決策】①③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

### 課題

- 児童数の少ない小学校を維持していく必要があり、費用負担が大きい。また将来的には、1学級の学年が増えることや部活動の選択肢が減ることが想定される。
- 比較的新しい児童館の建物の活用方法の検討が必要。

## 評価の視点

- 第1回・第2回のワークショップでいただいたご意見をもとに、再配置プランを検討していくための9つの視点を取りまとめました。今後、複数の再配置プラン案を比較する際の評価の視点として活用していきます。

視 点	内 容
① 地区のまとまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区住民同士が関わり合い、三谷としてのまとまりを作りやすくなっているか。</li> <li>● 地区の行事や活動の中心となる拠点が整備されているか。</li> </ul>
② 地区の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業活性化などの地域振興が進むか。</li> </ul>
③ 学校教育環境の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切な学校規模が維持されているか。</li> <li>● 学習環境や活動内容が充実しているか。</li> <li>● 学校の配置は適切か。</li> </ul>
④ 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの居場所は確保されているか。</li> <li>● 子育てしやすい環境が整備されているか。</li> </ul>
⑤ 多世代・同世代で活動・交流できる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な世代の方が交流できる環境は充実しているか。</li> <li>● 同世代で気軽に利用・交流できる場は確保されているか。</li> </ul>
⑥ 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全の確保された立地となっているか。</li> <li>● 避難所・避難場所の数や位置は適切か。</li> <li>● 機能が集合した施設の防犯対策・安全面への配慮がされているか。</li> </ul>
⑦ 利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1カ所で多様な活動が行えるようになったか。</li> <li>● 各所から通いやすい施設配置となっているか。</li> <li>● 駐車スペースは十分確保されているか。</li> </ul>
⑧ 将来負担の縮減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維持更新費用・運営費用は縮減されているか。</li> </ul>
⑨ 運営の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>● なし</li> <li>※ 再配置を実施後に配慮しなければいけない事項（付帯事項）として整理します。</li> </ul>

## 本日の検討内容

① 前回までのご意見をもとに、課題を解決するための対策として再配置プラン案を事務局で作成しました。再配置プラン案について確認したいこと、期待できること、不安なことはありますか。また、各々の案についてさらに良くするためのご意見はありますか。

② 今後これらの再配置プラン案を評価していきますが、その評価の指標として、皆様のご意見に基づく9つの視点を活用していきます。それぞれの視点の内容について、気になることやご意見はありますか。

## 次回ワークショップのご案内

「第4回三谷地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を以下のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

### 1 日時

平成30年11月25日（日）

午後1時30分～午後4時30分（開場：午後1時15分）

### 2 会場

三谷小学校 管理特別教室棟（北棟）2階 集会室

### 3 お願い

- ・ 次回ワークショップの資料を郵送で事前に配布いたしますので当日ご持参下さい。
- ・ 欠席される場合は、事務局までご連絡願います。

### 【ワークショップ事務局】

蒲郡市総務部財務課 担当：小野・大森・星野

電話：0533-66-1158

ファクス：0533-66-1183

E-mail：zaimu@city.gamagori.lg.jp